

## 「人間の安全保障」に基づいてものごとを考えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。  
本日1月17日は大学入試センター試験が行われます。現高校3年生と高校を卒業している方々が大学進学を目指して、今日と明日の2日間一所懸命に試験に臨みますので、放送をお聴きの皆さんもぜひ応援してあげてください。
2. 同時に、本日は阪神・淡路大震災から20年となる非常に大切な日です。そこで今日は、阪神・淡路大震災から20年目を迎えるにあたって私が考えていることを少しお話させていただきます。安全保障の中には「国の安全保障」と「人間の安全保障」の2つがあると思います。日本では国の安全保障のためにいろいろな取り組みを行っています。また、人間の安全保障を世界に先駆けて提唱し、いろいろな政策を進めています。
3. 「人間の安全保障」は、英語では **Human Security** (ヒューマン・セキュリティ) と言います。これは人間一人ひとりに着目して、人々が恐怖や欠乏から免れ、尊厳を持って生きることができるよう、個人の保護と能力の強化を通じて国や社会づくりを進めるという考え方です。
4. 冷戦が終わりグローバル化が進展すると、紛争・難民・感染症・気候変動・環境問題など国際社会における課題が複雑化し、多様になります。そのため、1つの国で対処するのは困難だとの指摘から、いろいろな国が協力して国家を中心とした枠組みだけでなく、人間を中心としたアプローチもしていこうと考えて、日本政府が主導して世界に呼びかけたのが「人間の安全保障」です。ですから、貧困の方をどうするか・紛争をどうするかなどについて考えるときに使われる考え方ですが、今回の東日本大震災や20年目の阪神・淡路大震災などの自然災害についても「人間の安全保障」に基づいていろいろなことを考えていくのが1つのとらえ方であると思います。
5. この「人間の安全保障」には、大きく分けて2つの考え方があります。1つは、緊急時に最も大切な人命を保護する「保護」という考え方です。これは英語で **Protect** (プロテクト) と言います。まずは人命を保護するために危険な状況から一刻も早く脱却できるように手助けをしようというのが、保護の考え方です。2つ目は、保護という状態が少し落ち着いてきたら、生活の立て直し・求職・地

域の復興などをするために能力を向上させようという「能力強化」の考え方です。これを英語で Empowerment(エンパワーメント)と言います。power(パワー)は力・能力という意味ですが、これに em(エン)を付けるとそれをもっと向上させるという意味になります。ですから、保護と能力強化の2つの考え方に基づいて、自然災害への援助・難民の方々への援助などを考えるのがよいと思います。

6. 翻って、阪神・淡路大震災のときには保護がうまくなされたのか・そのあとには被災した方々の能力強化がなされたか、東日本大震災では保護がうまくなされたのか・そこに住まわれる方々の「能力強化」がなされたのかなど、2つの観点からものごとを考えることが大切だと思います。そして、二度とあってはならないことですが、これから先に異なる場所で大変なことが起こったときには、それらを教訓としてどうしたらよいかを考えて対処するのがよいというのが私の考えです。
7. 「人間の安全保障」は、「国の安全保障」を補完する意味で使われているものです。「人間の安全保障」は、国連難民高等弁務官を務められたり、日本の開発援助の中心となられたりした非常に高名な緒方貞子さんと、ノーベル賞を受賞されたアマルティア・センさん、元内閣総理大臣の小渕恵三さんが中心となって何年か研究し、その報告書を当時の内閣総理大臣であった小泉純一郎さんに提出しました。アマルティア・センさんはインド出身で、イギリスで活躍して「貧困の撲滅」という有名な本を書かれた方です。
8. このように、緒方貞子さんとアマルティア・センさんたちが「人間の安全保障」とは何かについて研究して報告書を提出しましたので、そのあとに小泉首相をはじめとする歴代の内閣総理大臣や外務省の方々、そのほかの方々が協力し、「人間の安全保障」の考え方を日本の外交の中心に据えました。特に、政府開発援助としてアフリカをはじめとする国々の貧困の撲滅・人間の能力強化を行うときに、この考え方が先頭に立って使われています。このような考え方で外交を進めているのは、日本が唯一です。また、「人間の安全保障」を共有化しようということで、2012年には国連の総会で議決されました。
9. これから万が一に大震災などが起こった場合には、人命を保護する・人間の能力を強化するという2つの観点からいろいろなことを考えていただければと思います。ものをたくさん作ることも大切ですが、一人ひとりの能力を強化することに大切な予算を使っただけだと有難いです。ぜひ皆さんも一緒に考えていただきたいと思います。